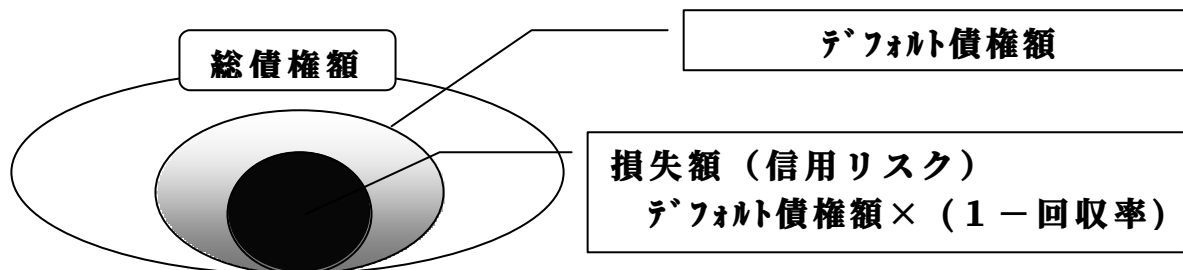


＜図表 5＞ 超長期固定住宅ローン提供に伴うリスク

●信用リスク

住宅ローン債務者の失業等により、元金や利息の支払が不能となり、かつ担保物件の処分をしても、担保価値の下落により十分な回収ができないリスク。

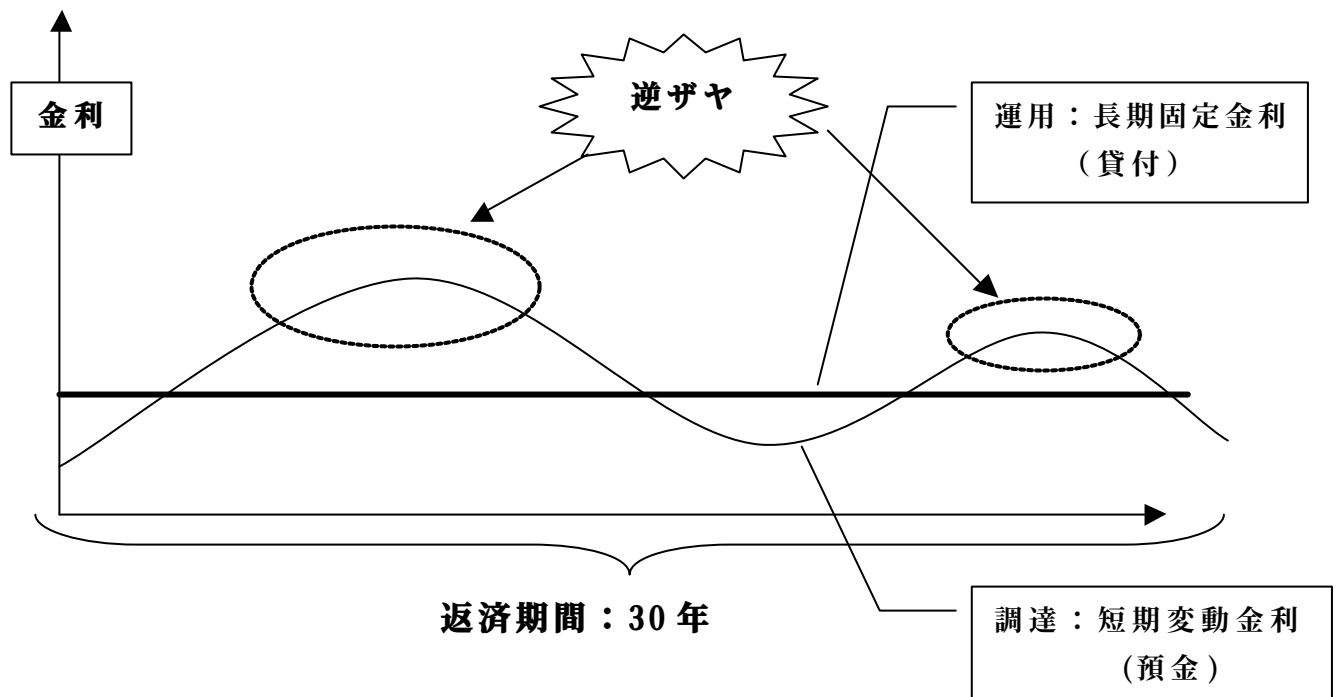
＜現状＞ 系列又は子会社が債務保証するのが一般的



●金利変動リスク

貸付原資と貸付との間で、期間や金利の種類等が異なるために、市場金利の変動によって逆ざやが生ずるリスク。

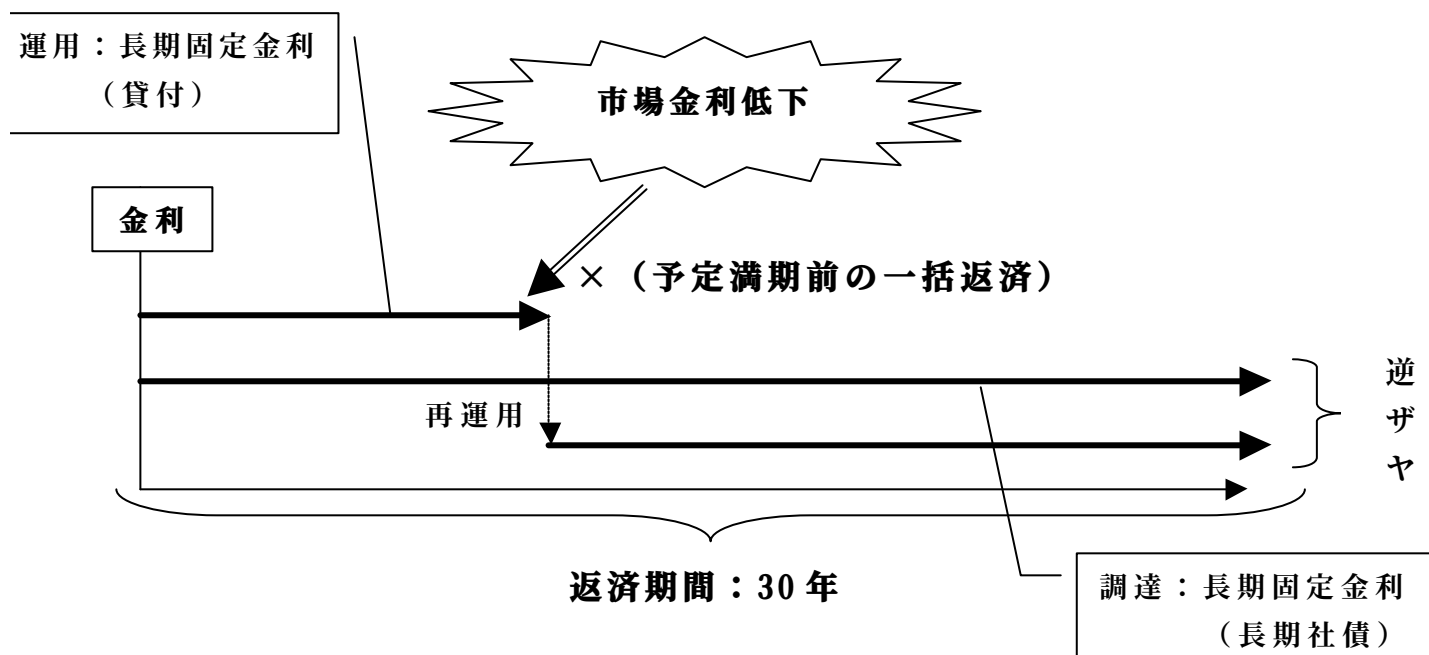
＜現状＞ 金利スワップや長期債の発行など一定のリスクヘッジ手段は存在するが、コスト見合いや需給関係により、10 年超のものには限界



● 期限前償還リスク

金利低下に伴う借換など、予定する満期前の一括返済により、期待していたキャッシュフローが得られないリスク、また、一括返済された資金を有利に再運用できないリスク。

<現状> 運用も調達も、短期又は変動金利が中心



● 流動性リスク

長期固定運用に対し、短期調達の継続（借換）が困難となり、通常より高い金利での調達や、借換不能によるデフォルトリスク。

<現状> 運用も調達も、短期又は変動金利が中心

